

3月の出来事

平成24年4月発行

第60号その1



Aユニット
Sさん



Bユニット
Mさん

花に新しいお仲間がお二人入られました。AユニットのSさんは、体と頭の体操が大好きな素敵なお母さんです。歓迎会では温かく皆さんから迎えられ「宜しく願い致します。」と互いに挨拶を交わされ、その後は皆さんで和やか雰囲気になっていました。また「お名前が覚えられなくて・・・」と心配されていましたが、皆さんと仲良く過ごされています。BユニットのMさんは、理論派のなかなかのジェントルマンです。そしてBユニットで初めての男性入居者様でもあり、皆さんからとても好意的に迎えられ「私は何もできないですが、お世話になります。」と照れながら挨拶されていました。

ひな祭り



3月3日ひな祭りを行いました。かるーく準備体操をした後で、お玉ピンポン運びゲームや輪投げゲームで遊び、毎年恒例のフルート演奏を楽しんでいただきました。雛祭り、富士山、リンゴの唄など童謡唱歌謡曲などたくさんの曲を演奏していただき、入居者様も音色に合わせて歌を口ずさみ、首をうなづくように振り聞き入っていました。去年までと違うところは、しみじみと泣きながら鑑賞される方がいなく、手拍子をされたり、「あらーいい音だねー」とつぶやかれたり、楽しみながら聞かれる雰囲気がありました。演奏が終わってからも「良かったよ、気持ち良かった。」喜ばれていました。また、その後のおやつに甘酒と手作りの饅頭を出したところ、ちょっと失敗気味の饅頭ながら、「美味しいね〜」と言って喜んで召し上がってくれました。やさしく思いやりのある入居者様に感謝です。

ひな祭りの翌日には、「どうするの？出す時も大変だけど片づけるのも大変だね！ところで出す時も私たちいた・・・？」などと言いながら、お雛様を名残惜しそうに一つひとつ丁寧に箱にしまっていました。



普段の生活

平成 24 年 4 月発行
第 60 号その 2

入居者様は、普段ゆったりした生活をしている中にも、周りの皆さんが少しでも過ごしやすいうちに、自分のことぐらい自分でしなくてはと思いながら暮らされています。時には、「この仕事は私の縄張りよ！」と言わんばかりのオーラを放つ姿は、さすが長年生きてこられている方と感じさせられることもあります。そんな花での日々を少し紹介させていただきます。生活をしていると色々とやらなくていけない作業が出てきます。掃除機をかけるのが得意な方がいれば、長い廊下を掃除機のコンセントを差し替えてスムーズな掃除ができるようにと、あうんの呼吸で協力する方もいます。また、昔ながらのほうきとちり取りが性に合い、楽しそうに隅々まで掃除される方や、目についた落ちていたゴミを拾われ、スタッフの良き手本となっている方もいます。お料理をされる方には、スタッフよりキャベツの千切りなども素早くきれいに出来て、ほんと頼りになる方もいます。「それ、どれ、任しておきな！」と周りの方を引っ張る素敵なお母さんもいます。ほとんどのみなさんが出来る仕事に、番茶のパック詰めがあります。キチッと分量も揃え、ピシッときれいに並べられ、見事に仕上げていきます。スタッフも「カニを食べているような真剣さを感じる時があるんです。表現はよくないかもしれませんが、集中力がすごいんですよ！」と絶賛していました。黙っていても雪が降るときれいに除雪され「いい運動だ！」と汗を流される方もいます。この他にも茶碗拭き、モップ掛け、拭き掃除、新聞畳み、窓ふき、お買い物など色々な仕事をこなしていただいていますし、これからの季節は畑作業も出てきます。ただ、もちろんいい時ばかりではなく、機嫌があまりよくない時もあります。作業などしたくない時もあります。でも「健康第一」、皆さんで楽しみを見つけながら体を動かしていただき、いつまでも元気なお父さんお母さんでいていただきたいと思っています。

